

2014年12月期 決算説明会

GMO CLOUD

STOCK CODE : 3788

代表取締役社長 青山 満
専務取締役 閑野 倫有

当資料取扱上のご注意

本資料に記載された内容は、2015年 2月 9日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

1. サマリー

2. 2014年12月期決算概要

3. 事業概況※

- ✓ クラウド・ホスティング事業
- ✓ セキュリティ事業
- ✓ I A M事業
- ✓ ソリューション事業

※第4四半期より「I A M事業」を新たに加え4事業体制
従来の3事業においても名称変更実施

1. サマリー

業績

売上高：**10,490**百万円、営業利益：**850**百万円

経常利益：**920**百万円、当期純利益：**500**百万円

各セグメントの状況

クラウド・ホスティング事業

- 新クラウドサービス GMOクラウドALTUS（アルタス）提供開始
- 2015年7月のクラウド・ホスティング事業経営統合に向け始動

セキュリティ事業

- AEGサービス提供開始

I A M 事業

- フィンランドのユビセキュア社が当社グループに加わる

ソリューション事業

- Web制作：O2O集客支援スマホアプリ「Biz Paletteアプリ」の販売開始
- エネルギーマネジメント事業：新規に事業開始
- Photon事業：検証段階を終え、マネタイズ期に突入

2. 2014年12月期 通期決算概要

2014年 通期連結決算概要[累計比較]

セキュリティサービスが伸長し、前年同期比増収

単位：百万円	2013年 12月期実績	2014年 12月期予想	2014年 12月期実績	前年同期比
売上高	10,014	10,524	10,490	+4.8%
営業利益	946	1,050	850	-10.2%
経常利益	906	1,045	920	+1.5%
当期純利益	530	645	500	-5.7%
1株あたり 純利益(円)	45.58	55.43	42.96	-5.7%

2014年 四半期別連結決算概要[四半期比較]

売上は堅調に推移したものの、広告宣伝費、のれん償却費等により営業利益は下降

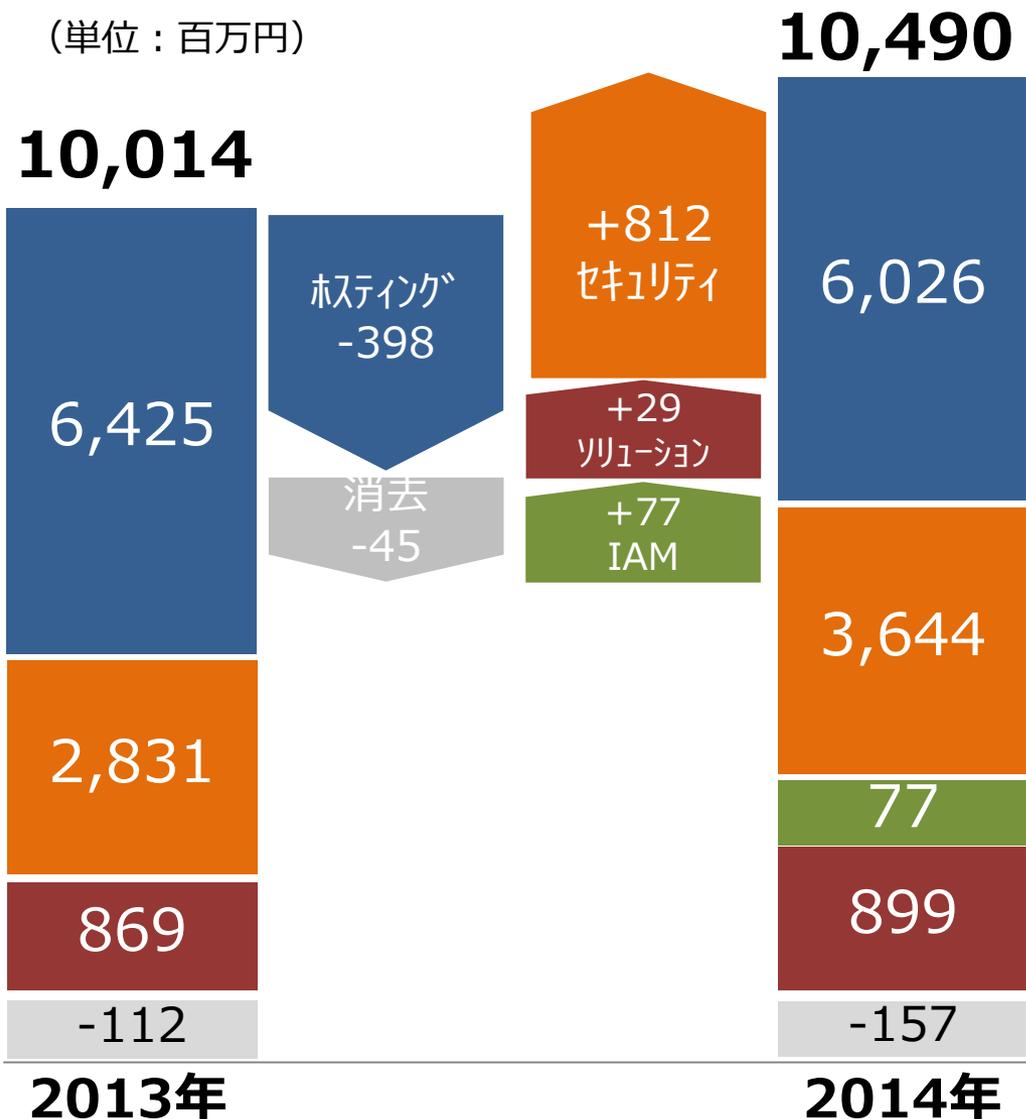
単位：百万円	2014年 1Q	2014年 2Q	2014年 3Q	2014年 4Q	前四半期比
売上高	2,571	2,656	2,488	2,773	+11.5%
営業利益	321	247	107	174	+62.5%
経常利益	286	281	162	190	+17.4%
四半期 純利益	175	177	80	65	-18.5%

セキュリティ事業は続伸したものの、クラウド・ホスティング事業は減収減益

売上高				営業利益			
	百万円				百万円		
セグメント	2013年 12月期	2014年 12月期	前年比	セグメント	2013年 12月期	2014年 12月期	前年比
クラウド・ホスティング	6,425	6,026	-6.2%	クラウド・ホスティング	419	142	-66.1%
セキュリティ	2,831	3,644	+28.7%	セキュリティ	508	740	+45.5%
I A M	-	77	-	I A M	-	-37	-
ソリューション	869	899	+3.4%	ソリューション	17	4	-73.0%
消去又は 全社	-112	-157	-	調整	0	1	-
連結計	10,014	10,490	+4.8%	連結計	946	850	-10.2%

連結売上高 セグメント別増減要因[年度比較]

(単位：百万円)



ホスティングサービス事業

6,026百万円(前年比 6.2%減)
⇒クラウドサービスは堅調に推移するも、既存ホスティングサービスが減少

セキュリティサービス事業

3,644百万円(前年比28.7%増)
⇒前年同様に堅調推移
海外においては、ライセンス
ディール売上増加

IAM事業

77百万円
⇒海外売上分、国内1月より運営開始

ソリューションサービス事業

899百万円(前年比3.4%増)
⇒O2O集客支援スマホアプリ貢献
一部事業売却により売上減少

連結営業利益 セグメント別増減要因[年度比較]

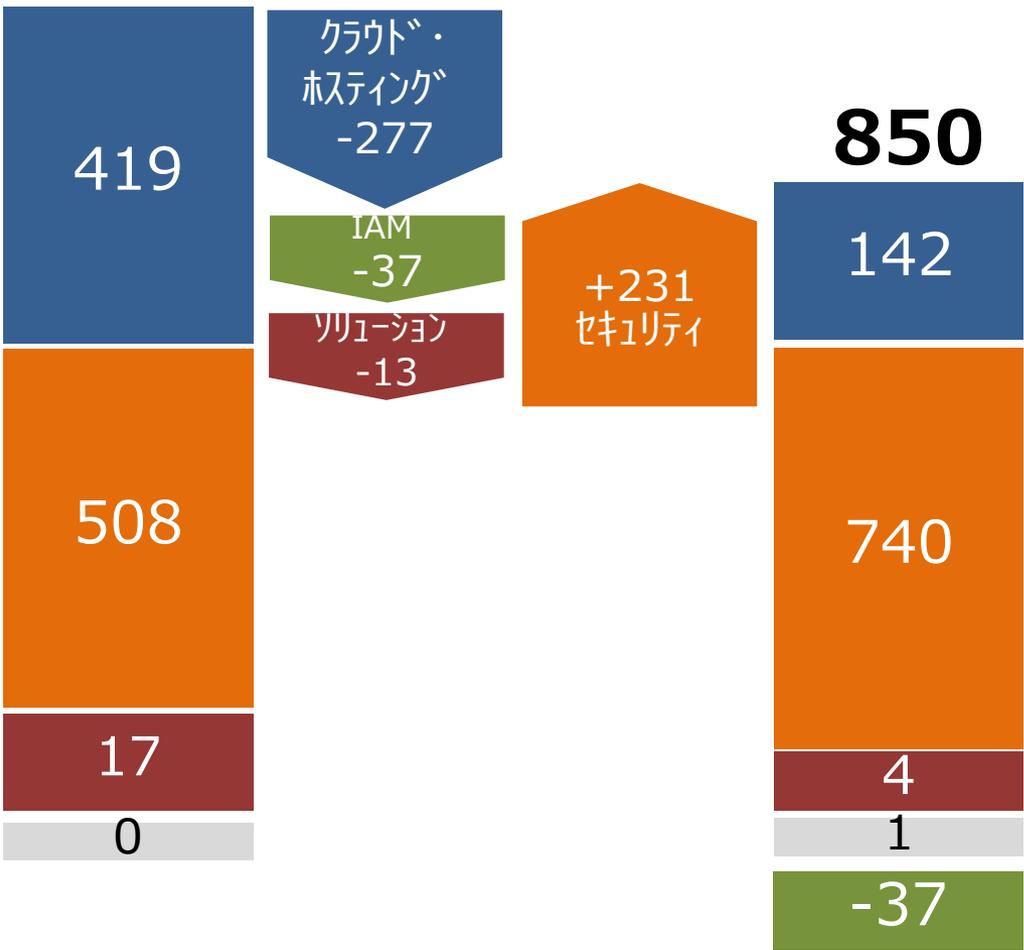
(単位：百万円)

946

850

2013年

2014年



ホスティングサービス事業

142百万円(前年比66.1%減)
⇒販売管理費の減少に努めたものの、新規事業への投資、売上減少の影響により減益

セキュリティサービス事業

740百万円(前年比45.5%増)
⇒売上が堅調増加及び2013年に子会社のれん償却終了の影響

IAM事業

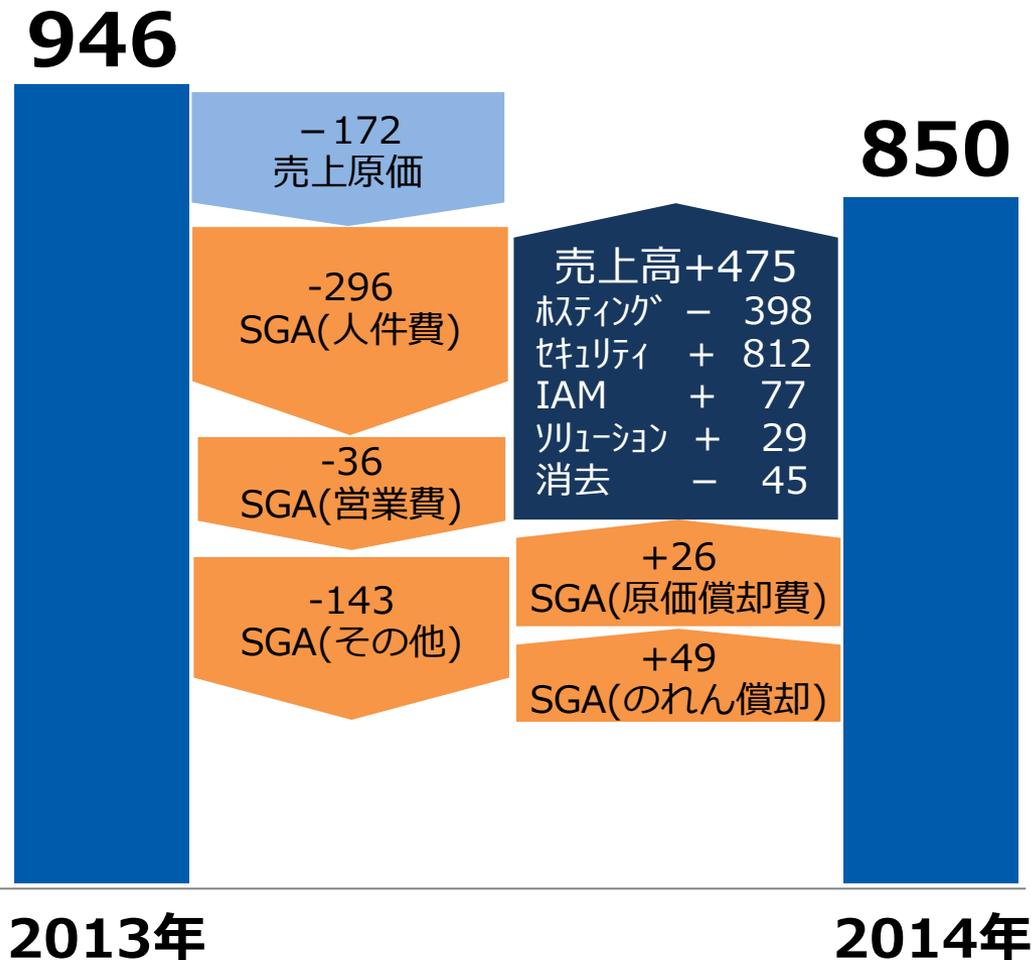
-37百万円
⇒のれん償却額72百万円影響

ソリューションサービス事業

4百万円(前年比73.0%減)
⇒一部事業売却の影響による売上減少の影響

連結営業利益 科目別増減要因[年度比較]

(単位：百万円)



売上原価

4,239百万円(前年比4.2%増)
⇒売上増加に伴い、セキュリティ事業の売上原価増加

販売費及び一般管理費

5,399百万円(前年比8.0%増)
⇒【クラウド・ホスティング事業】
新クラウドサービス等により広告
宣伝費増加、また新規事業投資
による費用発生

【セキュリティ事業】
ユビセキュア社のM&Aに伴う
費用発生

連結貸借対照表

単位：百万円	2013年12月末	2014年12月末	増減率	主な資産増減要因
流動資産	4,912	5,264	7.2%	✓ 現預金の減少 635百万円
(現金預金)	3,268	2,633	-19.4%	
(売掛金)	1,117	1,266	13.4%	✓ 売掛金の増加 149百万円
固定資産	3,380	3,994	18.2%	✓ のれんの増加 1,245百万円
(ソフトウェア)	383	350	-8.5%	
(のれん)	365	1,611	340.2%	
(投資有価証券)	914	321	-64.8%	✓ 投資有価証券の減少 592百万円
資産合計	8,292	9,259	11.7%	
<hr/>				
負債	3,122	3,602	15.4%	主な負債増減要因
(前受金)	1,449	1,474	1.8%	✓ 買掛金の増加 38百万円
(有利子負債)	42	-	-	✓ 前受金の増加 25百万円
純資産	5,169	5,657	9.4%	✓ 未払法人税等の減少 86百万円
(株主資本)	4,913	5,168	5.2%	
(その他包括利益累計)	171	326	90.1%	
(少数株主持分)	84	162	92.6%	
負債・純資産合計	8,292	9,259	11.7%	

フリーキャッシュ・フロー※は、▲218百万円となりました

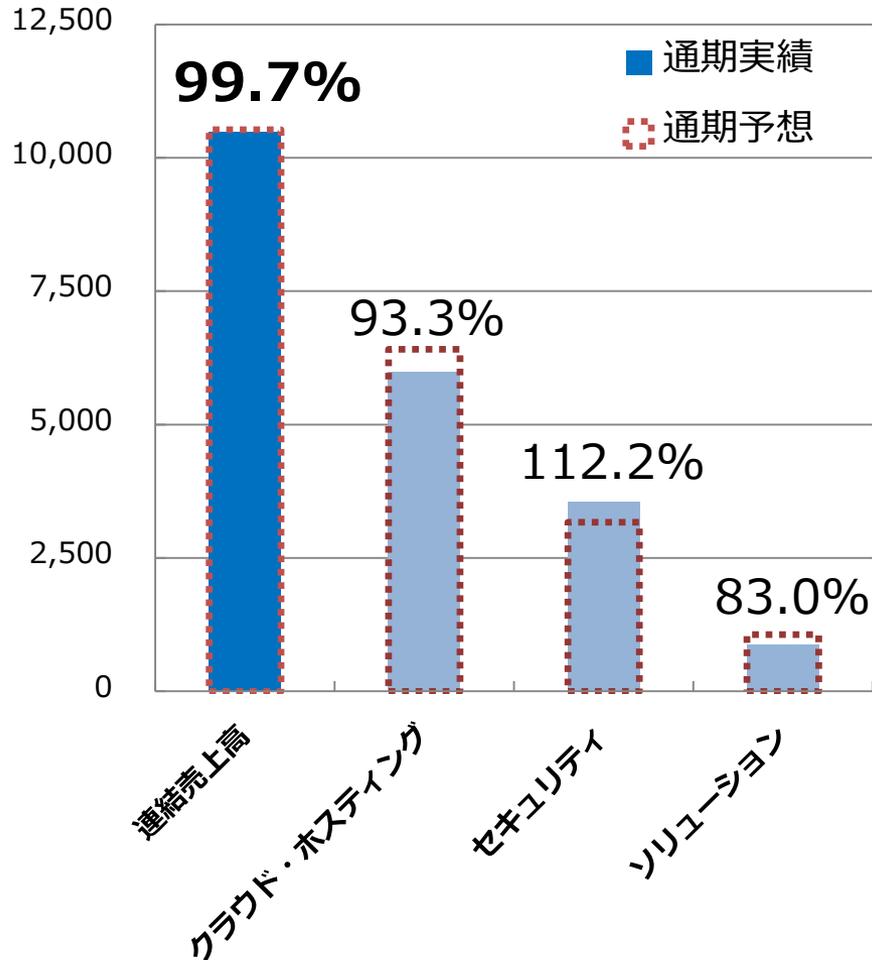
単位：百万円	2013年 4Q	2014年 4Q	
営業キャッシュ・フロー	1,207	1,380	税前四半期純利益 801百万円 減価償却費 579百万円 のれん償却額 263百万円
投資キャッシュ・フロー	-1,222	-1,599	子会社株式の取得 1,035百万円
財務キャッシュ・フロー	-434	-475	リース債務の返済 212百万円 配当金の支払額 221百万円
現金同等物の増減額	-182	-643	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,268	2,633	

※営業キャッシュ・フローから投資キャッシュ・フローを差し引き算出

売上高

単位：百万円

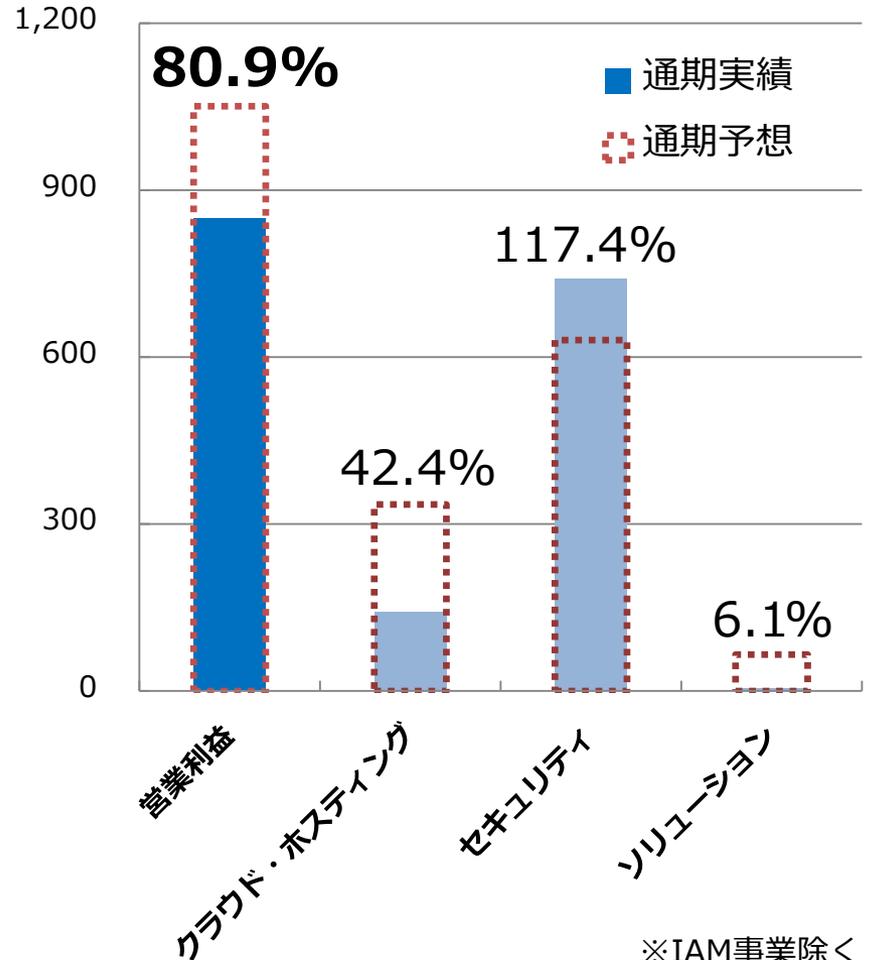
(%は達成率)



営業利益

単位：百万円

(%は達成率)



※IAM事業除く

2015年12月期通期業績予想

セキュリティ事業の伸びで増収するも、IAM事業ののれん償却の影響を加味し、減益計画

(単位:百万円)	2014年12月期 (実績)	2015年12月期 (予想)	2014年比
売上高	10,490	11,550	+10.1%
営業利益	850	800	- 5.8%
経常利益	920	780	- 15.2%
当期純利益	500	460	- 8.0%
1株当たり 純利益(円)	42.96	39.54	-

※IAM事業においては、年間約2.8億円ののれん償却費

2015年12月期通期業績予想〔セグメント別〕

売上高

単位： 百万円	2014年 12月期 (実績)	2015年 12月期 (予想)	2014年比
クラウド・ ホスティング	6,026	6,052	+ 0.4%
セキュリティ	3,644	4,325	+18.7%
IAM	77	301	+290.3%
ソリューション	899	1,026	+14.1%
消去又は 全社	-157	-155	—
連結計	10,490	11,550	+10.1%

営業利益

単位： 百万円	2014年 12月期 (実績)	2015年 12月期 (予想)	2014年比
クラウド・ ホスティング	142	190	+34.3%
セキュリティ	740	837	+13.1%
IAM	-37	-212	—
ソリューション	4	27	+470.1%
調整	1	- 4	—
連結計	850	800	- 5.8%

セグメントごとの今後の取り組み

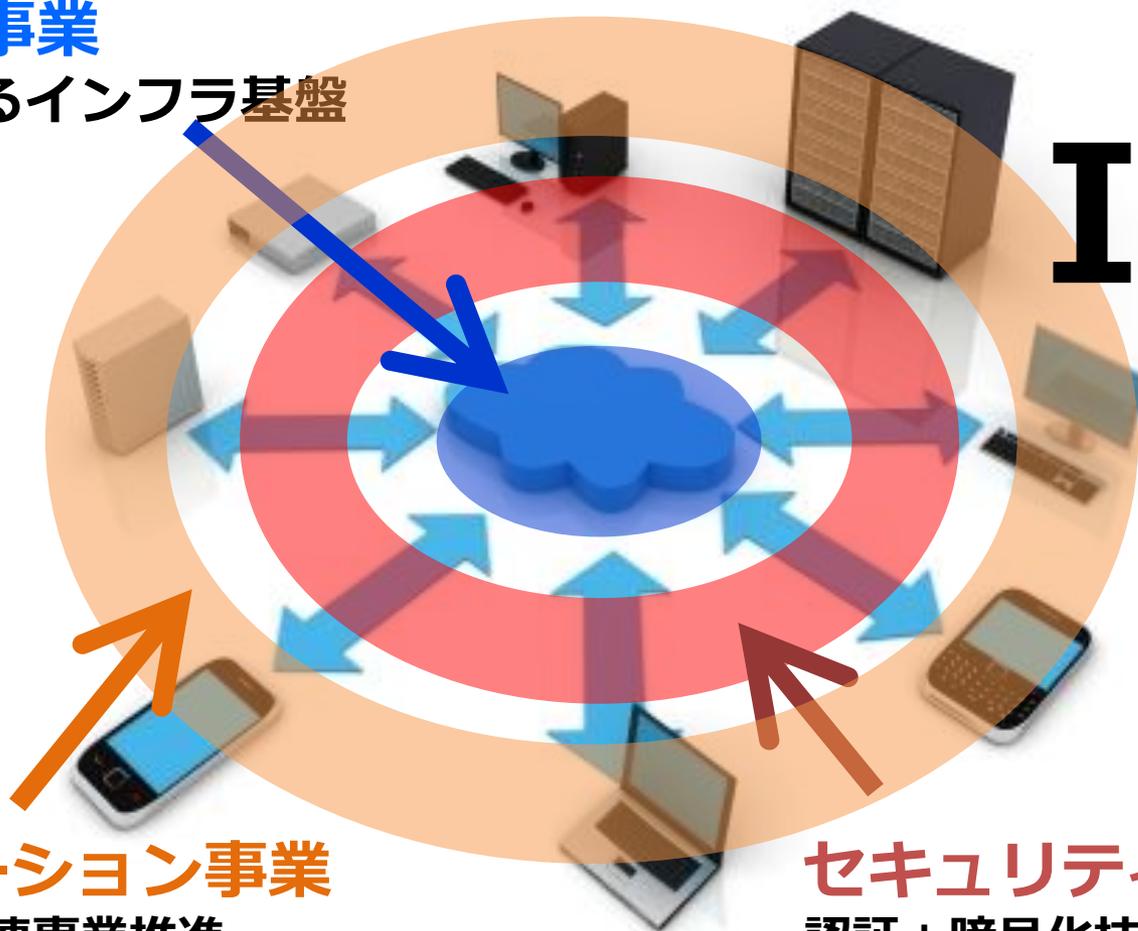
セグメント	今後の取り組み
クラウド・ホスティング事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ビジネスサポート社、クラウドWEST社との合併後の事業統合と業務効率化推進 【ホスティングサービス】 ✓ マイグレーション、低価格帯商材の見直しを推進し、商材の絞込みと利益率の改善 【クラウドサービス】 ✓ 拡張性の高いサービスの提供 ✓ 他社クラウドサービスとの連携強化
セキュリティ事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ AEG等の認証局拡張サービスに注力 ✓ SSL(OV)へ注力
IAM事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ グローバルサインブランドを活かしブランド認知向上 ✓ 3年以内に営業利益黒字化を目指す
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ IoT関連サービスの提供 -O2Oアプリ等のサービス提供 ✓ クラウド基盤を活かし、成長している業種への付加価値の高いサービスを提供

3. 事業概況

クラウドを基盤に、セキュリティとIAMで、IoT社会の発展に貢献

クラウド事業

IoTを支えるインフラ基盤



IoT

ソリューション事業

IoT周辺関連事業推進

セキュリティ、IAM事業

認証 + 暗号化技術、ID一元管理

IoT市場の規模は拡大

全てのモノがインターネットに接続されるIoT社会の到来

世界のIoT市場規模



全てのモノ



PC

モバイル機器



2003年

2010年

2020年

世界人口

63億人

68億人

76億人

接続デバイス

5億台

125億台

500億台

一人あたりの
デバイス数

0.08台/人

1.84台/人

6.58台/人

Source: CISCO IBSG 2011

出典: http://techon.nikkeibp.co.jp/article/SCR/20140619/359701/?SS=imgview_scr&FD=74273618

3. 事業概況

クラウド・ホスティング事業

新クラウドサービスを発表！

「低価格」×「高機能」の「GMOクラウドALTUS(アルタス)」
ブランドで3つのサービスを提供



Basicシリーズ

- ✓ Webサイトに最適
- ✓ 500円から始める本格クラウド



Isolateシリーズ

- ✓ 業務システムに最適
- ✓ 仮想ルーターで高セキュア



オブジェクトストレージ

- ✓ 低価格な大容量ストレージ

➡ クライアント企業の検証段階を終え、順調にサービス提供件数増加中！

専用サーバー、他社クラウドと繋がる**互換性**と**拡張性**

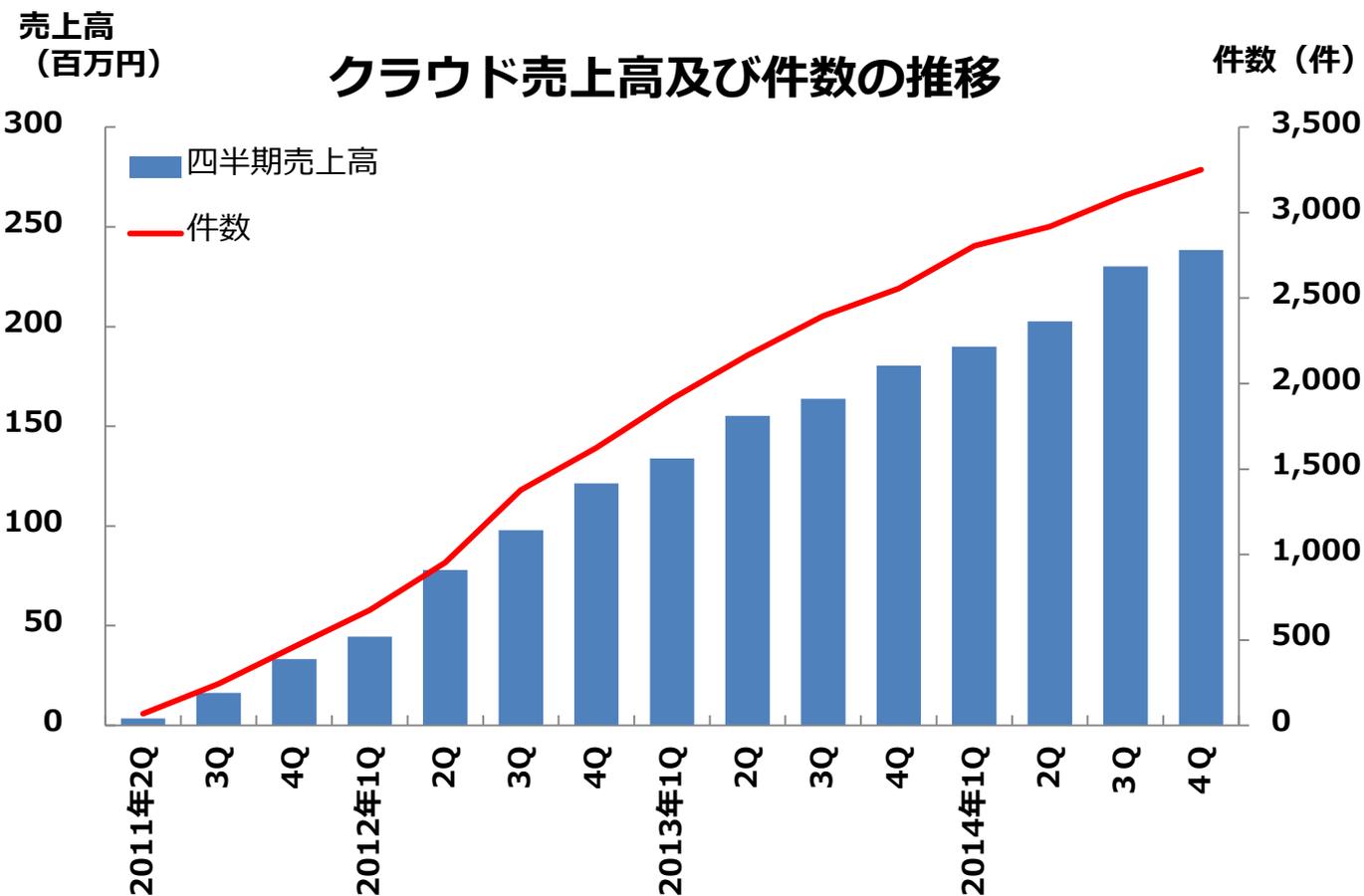


相互
連携

- ① 当社が提供する専用サーバー、クラウドサービスとつながる！
- ② 他社が提供するクラウドサービスとつながる！
- ③ ユーザーの所有するオンプレミスのサーバーとつながる！



利用者件数3,000件突破！右肩上がり推移

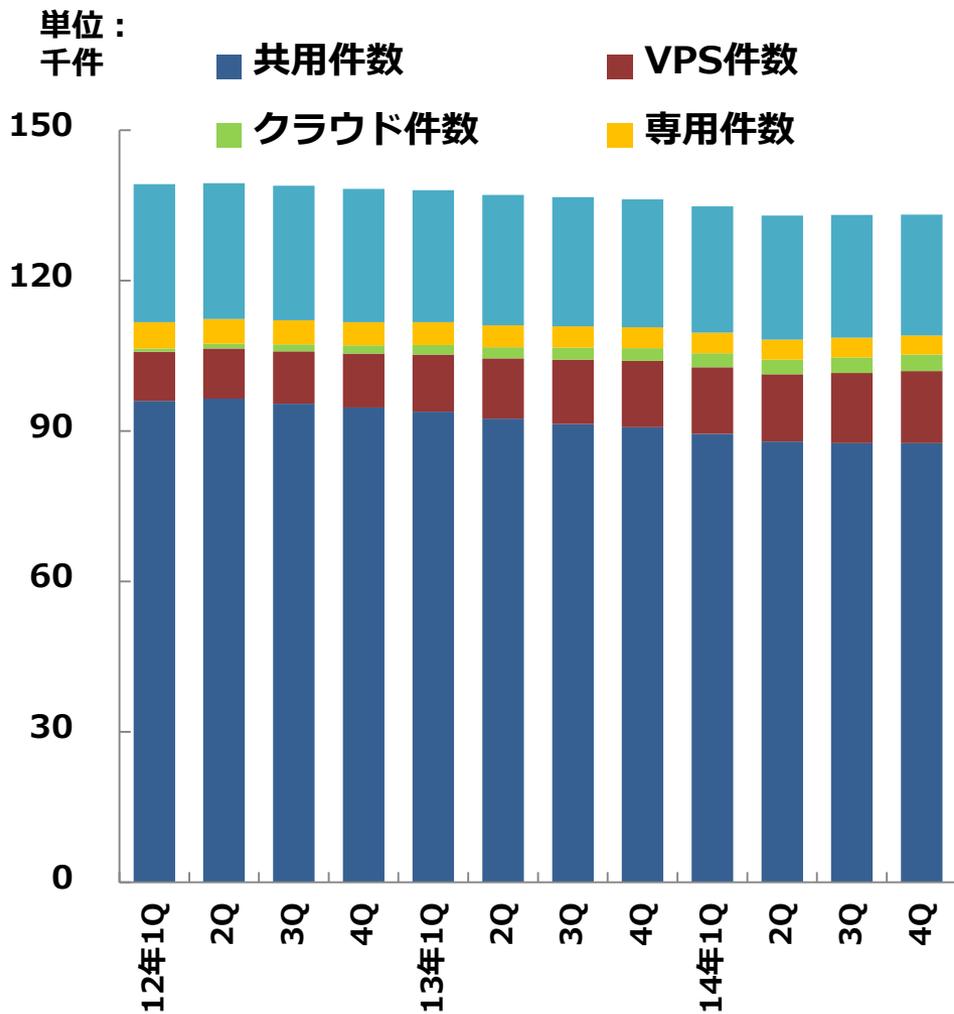


2014年第4四半期

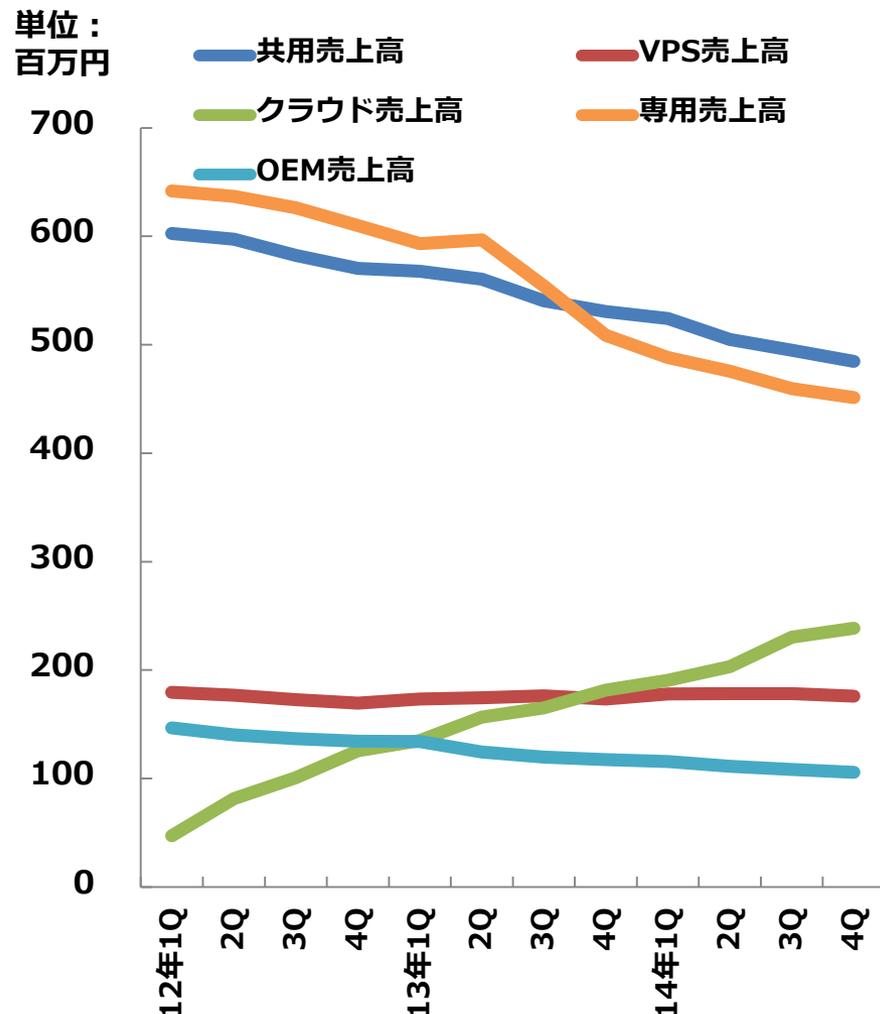
売上高：238百万円

前四半期比：+3.5%

四半期別 商材別件数



四半期別 商材別売上高



ビジネスサポート社、クラウドWEST社を吸収合併※

**GMOクラウドは、2015年7月子会社を吸収合併し
新しくなります！**

合併の目的

- ✓ **迅速な経営判断**
- ✓ **クラウドサービスが順調に進捗している中で、
販売管理体制を更に強化**
- ✓ **クラウド・ホスティング事業の業務効率化
提供サービスの整理、管理体制の見直し**

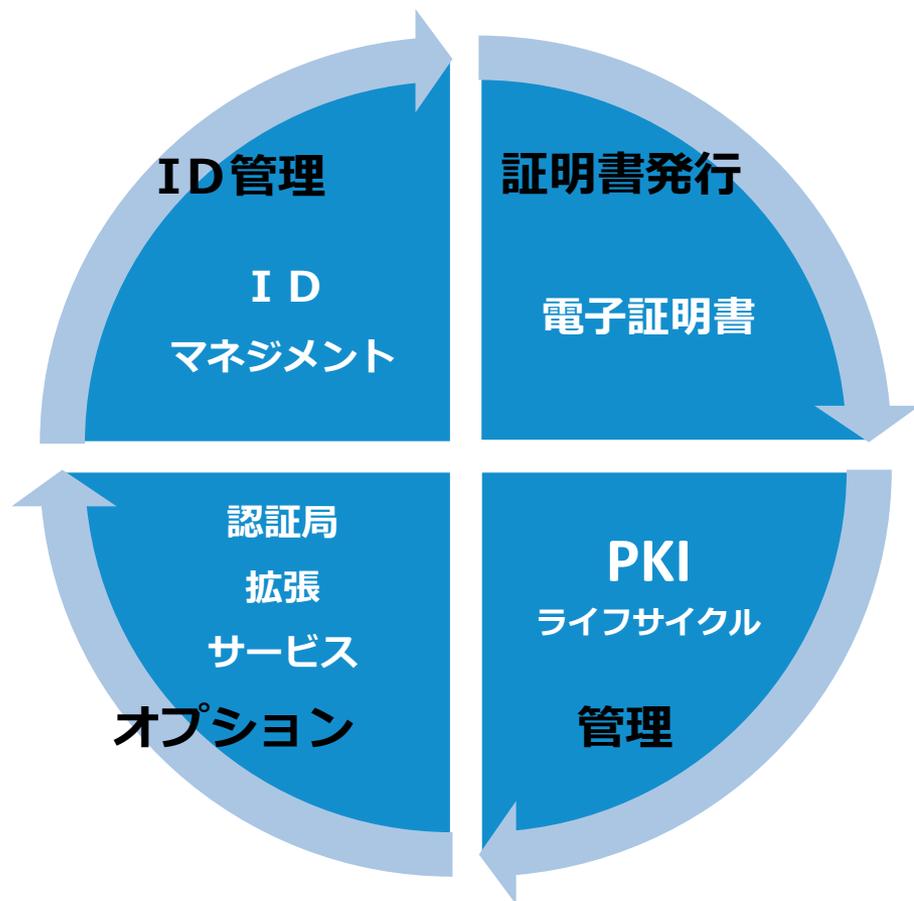
※3月に実施される定時株主総会での決議が条件となります

3. 事業概況

セキュリティ事業

クラウドを基盤にIoTを支援するサービスラインナップ

グローバルサインのサービス



✓ 500億以上のデバイスが繋がるIoTでは、セキュリティとID管理が不可欠

✓ ユビセキュア社が加わりID一元管理が可能

✓ 今後の展開は、「PKIライフサイクル」、「認証局拡張サービス」にも注力

✓ 4年連続「オンライントラスト栄誉賞」を受賞！

- ▶ データセキュリティやプライバシー関連事業を行うOnline Trust Alliance※ より、信頼性の高いWebサイトを表彰する2014年の「オンライントラスト栄誉賞」を受賞

※概要については<https://otalliance.org/HonorRoll>を参照



✓ Auto Enrollment Gatewayを国内市場に投入

- ▶ 中長期でエンタープライズ向け商材を投入する方針であり、海外で好評を得ているAuto Enrollment Gateway (AEG※) を6月に販売開始

※AEGとは、証明書の発行と更新を自動化するシステムであり、企業の証明書発行・更新漏れリスクをなくし、コスト低減に貢献。

✓ iid顧客満足度調査において、「ドメイン認証」及び「SSL組織認証」が総合満足度最優秀賞を受賞

【SMB】ドメイン認証SSL(DV SSL)

総合満足度



最優秀賞

GMO グローバルサイン株式会社

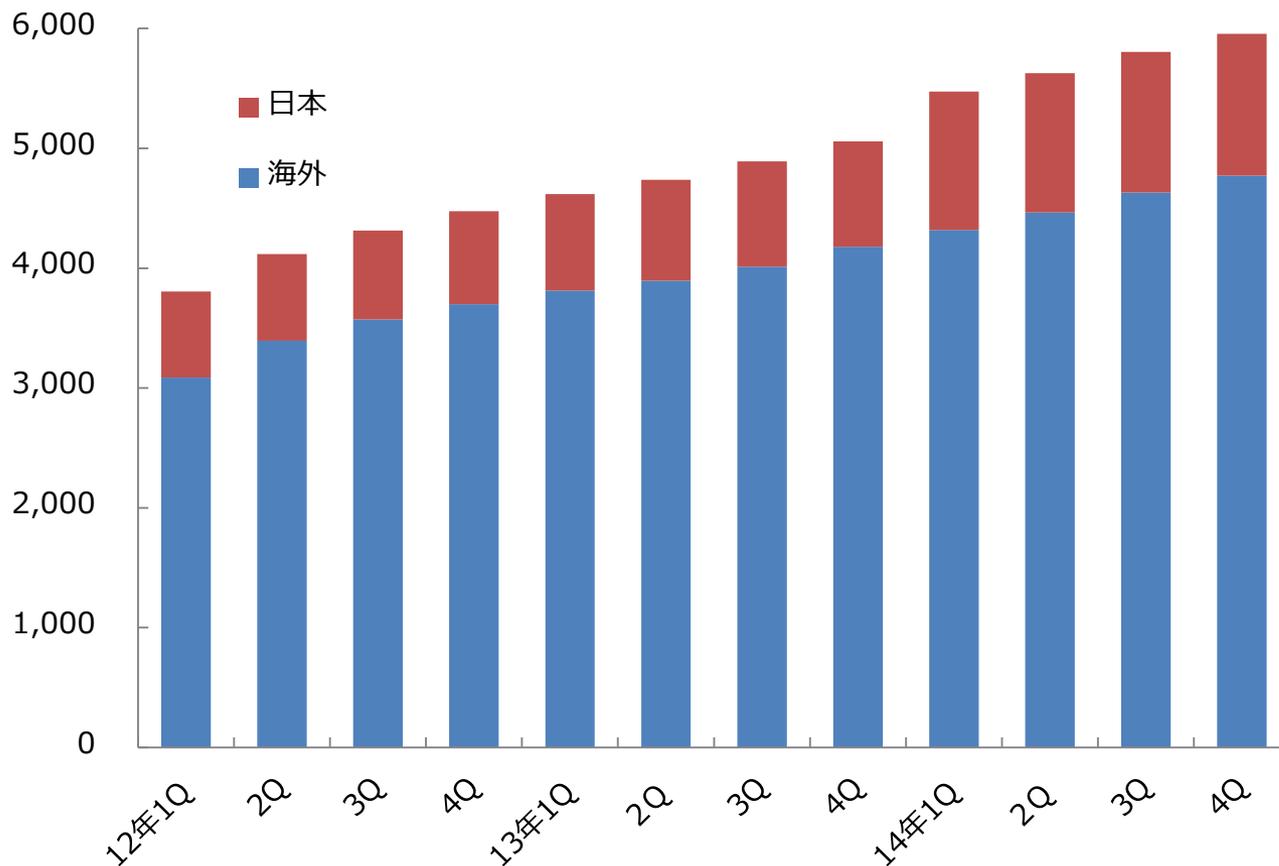
部門賞

👑 コスト満足度	株式会社コムドジャパン
👑 納期満足度	GMO グローバルサイン株式会社
👑 ブランド信頼性	日本ジオトラスト株式会社
👑 実務作業のわかりやすさ	GMO グローバルサイン株式会社
👑 サポート満足度	日本ジオトラスト株式会社
👑 効果満足度	GMO グローバルサイン株式会社
👑 営業担当者満足度	GMO グローバルサイン株式会社

※概要については<http://www.iid.co.jp/award/2014/ssl.html>を参照

代理店数推移

単位：件



順調に代理店数を拡大

2014年第4四半期

日本： 1,184件

海外： 4,773件

合計： 5,957件

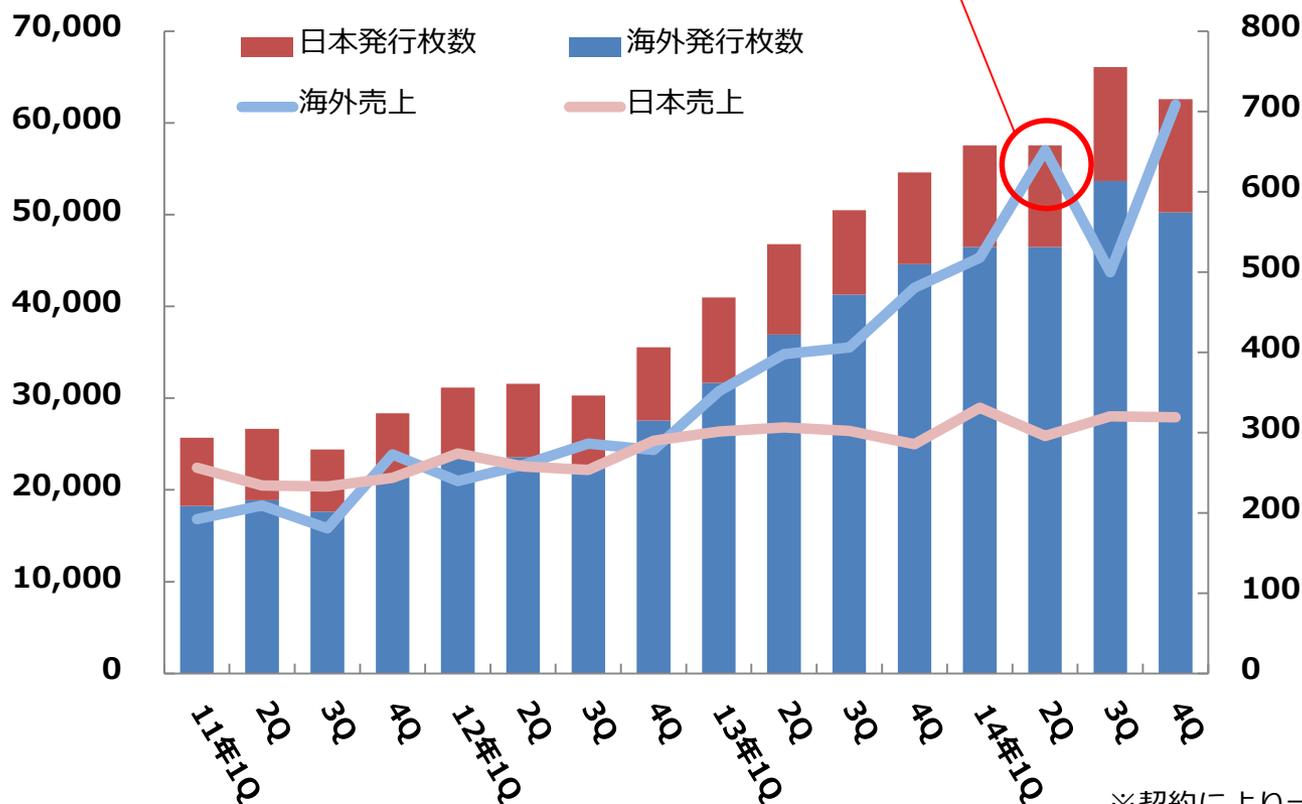
注) 2014年1Qより、国内代理店数を精査し直したため、国内代理店数が増加

SSLサーバ証明書発行枚数推移

ワンショットエンタープライズ売上
約50百万円

発行枚数
単位：枚

売上高
単位：百万円



- ✓ 海外はライセンス
ディール※の要因で売
上と発行枚数の相関
関係が不一致
- ✓ 海外売上増の要因
は、SSL更新と為替の
影響

2014年第4四半期

日本： 12,348枚

海外： 50,243枚

合計： 62,591枚

前年同期比 7,969枚
(+14.6%) の増加

※契約により一定の枚数まで自由に発行できる契約形態

3. 事業概況

I A M※ 事業

※ IAMとは、複数アカウント(ID)を統合管理し、さらにアクセスの範囲や権限なども詳細に設定し認証するシステム

Ubisecure社が当社グループに参加、10月よりIAM事業開始

ユビセキュア社概要

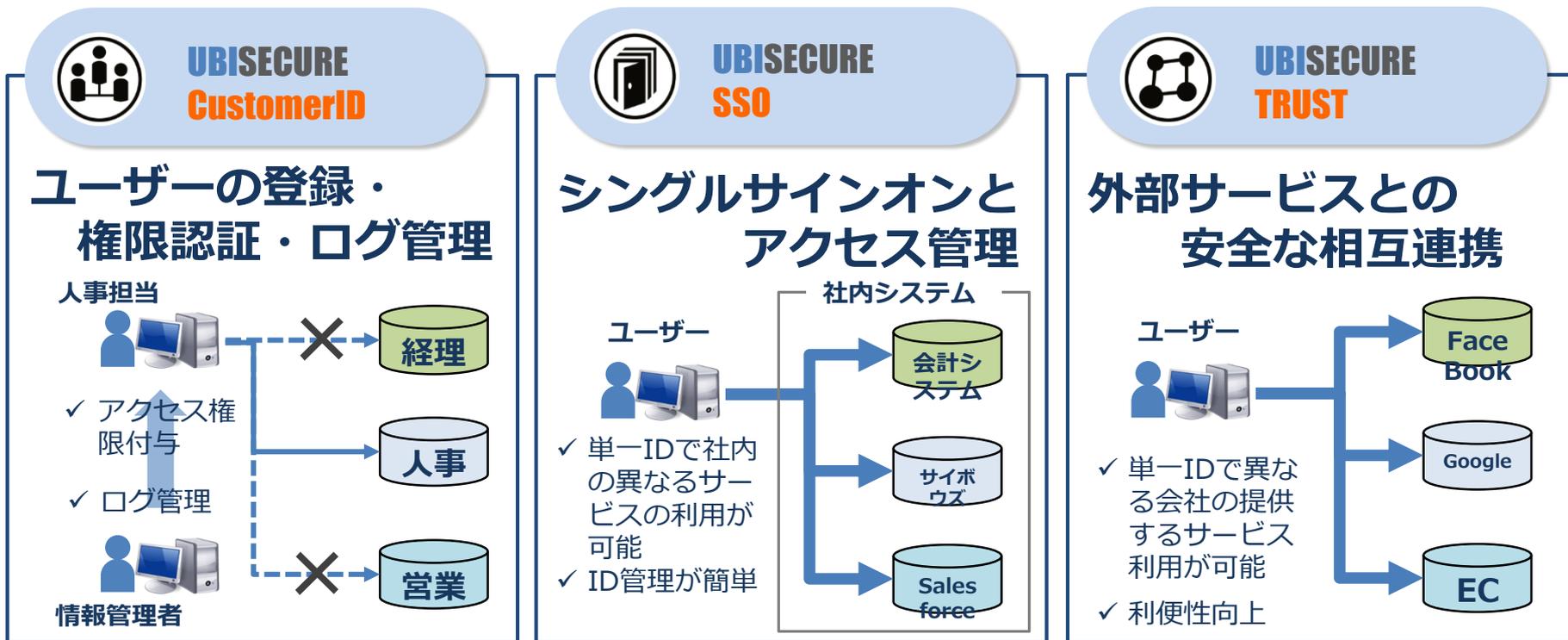
- ✓ IAM事業においてフィンランド国内シェアNo.1 (自社調べ)
- ✓ 政府機関70機関以上、保険・銀行などの金融機関10社、他様々な業種での導入実績

IAM事業の現在の進捗

- ✓ 国内2015年1月より営業開始のため、パートナー研修、社員研修の実施。既に数社から引き合い
- ✓ 海外においては、既に展示会に参加しブランド認知向上

UBISECURE 

Ubisecure社の提供する3つのサービス



全てのモノ・ヒトが繋がるインターネット社会で、
UbisecureのIAM技術とグローバルサインのセキュリティ
認証は不可欠!!

訴求、販売プラン

訴求ターゲット	中小企業～大手エンタープライズ企業中心
価格モデル	従量課金を予定
販売方法	グローバルサインのSIパートナーによる営業・導入
強み	<ul style="list-style-type: none"> ✓シングルサインオン外部連携の検証実績多数 ✓これまでのフィンランド国内及びEU圏内の導入実績 ✓グローバルサインのセキュリティ認証との相乗効果

3つのフェーズで事業を展開

国内においては、2015年1月よりフェーズ1及び2を展開中

フェーズ 1
ID一元管理

フェーズ 2
フェデレーション
プラットフォーム
の提供

フェーズ 3
IoT市場への
直接参入

Ubisecure社の今後の展開 フェーズ1

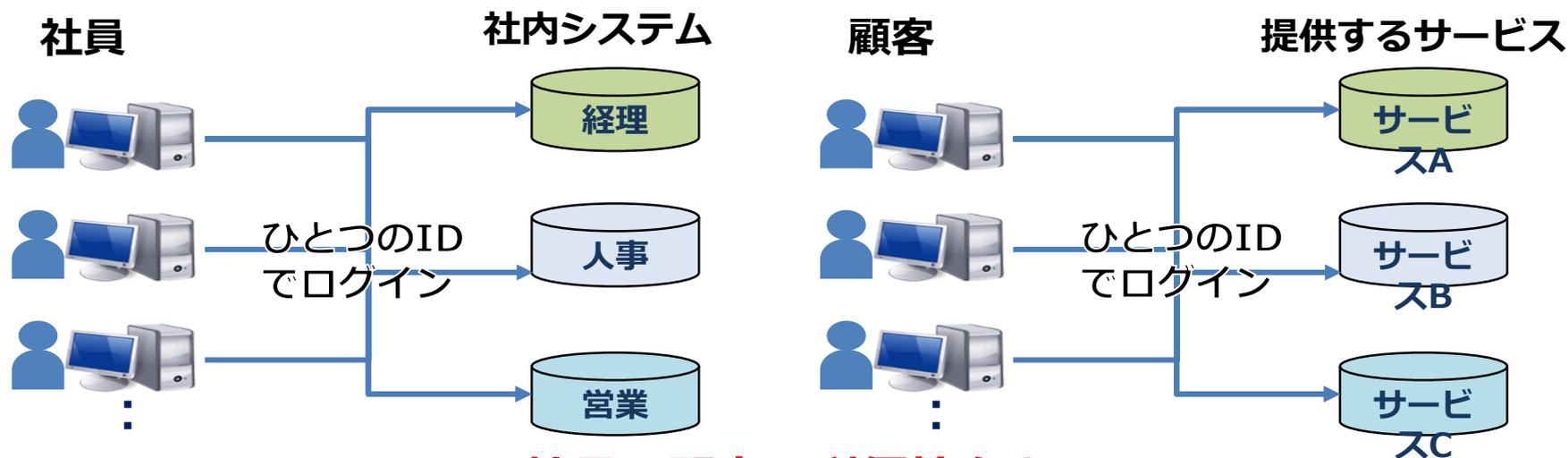
今後の事業展開

フェーズ1 ID一元管理

- ✓ IDひとつであらゆる社内システムにログインできる、一元管理システムの提供
- ✓ JSOX対応のためのログ管理サービス提供

会社内において

外部顧客に対して



- ✓ 社員、顧客の利便性向上
- ✓ セキュリティ体制の向上
- ✓ 管理者の負担軽減

Ubisecure社の今後の展開 フェーズ2

今後の事業展開

フェーズ2 フェデレーション プラットフォームの提供

- ✓ 社外システムとのID連携サービスを提供
- ✓ 例えば銀行のサイトのID・PWを打ち込んでログインした後、他社のECサイトでネットショッピングを可能にするサービス

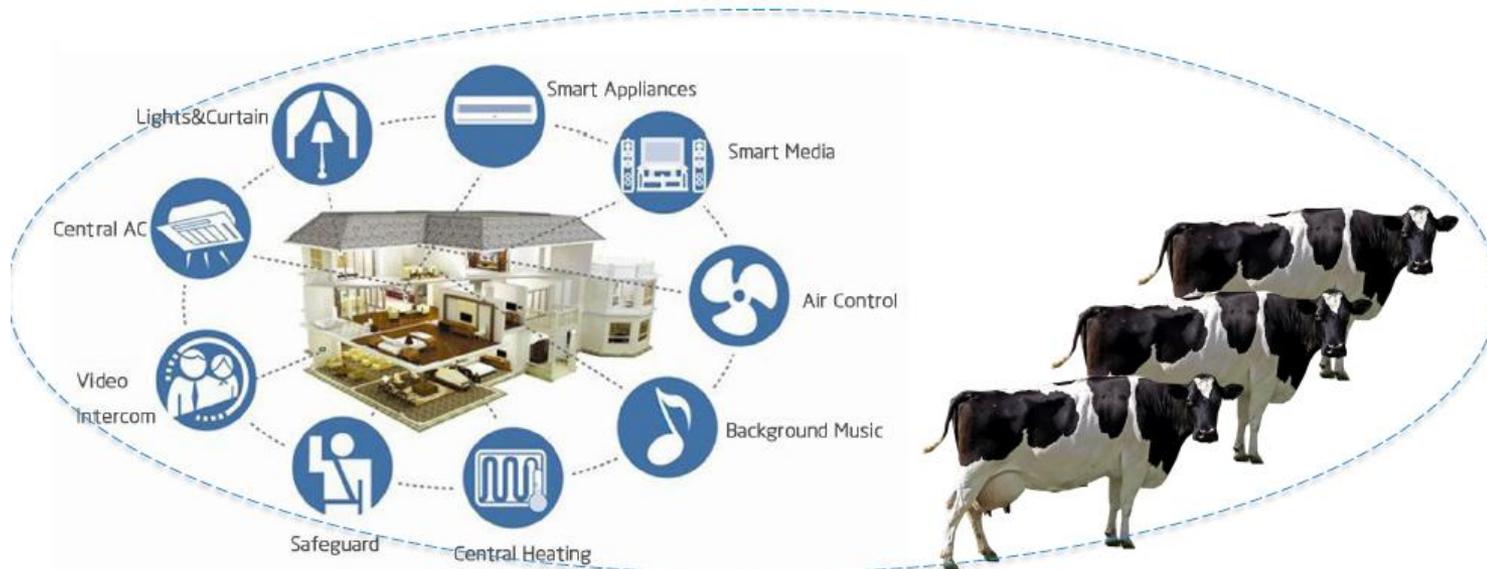


- ✓ 顧客の利便性向上によるより多くの集客
- ✓ マーケティングデータ収集によるサービス向上 等

今後の事業展開

フェーズ3
IoT市場への直接参入

- ✓ 2019年頃には、世の中にある約500億のデバイスがインターネットにつながる時代が到来
- ✓ グローバルサインのIDを全ての製品への搭載を目指す



全てのモノがインターネットに繋がる世界では、
ID管理統制と高セキュリティ認証が必須

3. 事業概況

ソリューション事業

※2015年より、これまでクラウド・ソリューション事業としていた「Photon REALTIME」「エナジーマネジメント事業」はソリューション事業へセグメント変更

O2O集客支援アプリ制作サービス

オーダーメイド型のO2O※集客支援

スマホアプリ売上げ順調推移



画面イメージ

スマホアプリ作成サービス BizPalette® アプリ by GMO の特徴

モバイル会員証

紙の会員カードからスマホの会員カードに！

スライド写真

アプリ内ページへの移動や好きなサイト・ブログへのリンクが可能！

メイン機能

集客につながる便利な機能が充実！操作性も抜群！

基本機能

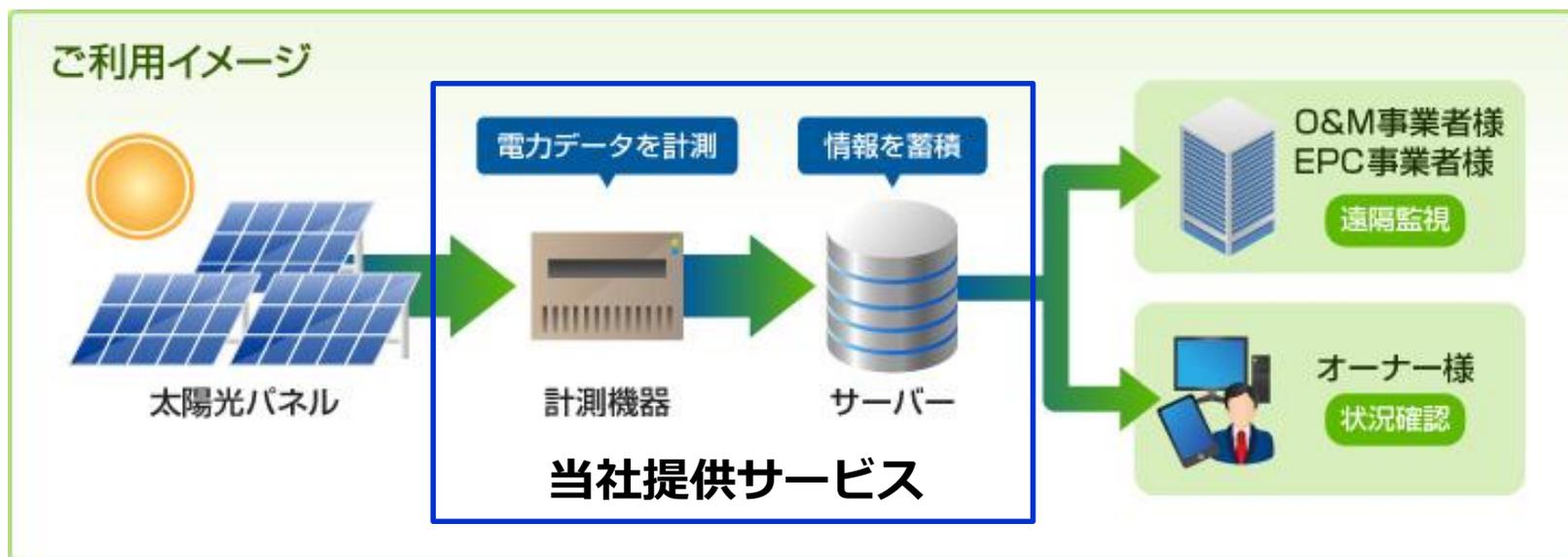
予約、決済、よく使う機能を表示し、簡単アクセス！

※O2O: オンラインとオフラインの購買活動が連携し合う、または、オンラインでの活動が実店舗などでの購買に影響を及ぼすこと

エネルギーマネジメント事業参入

成長産業に付加価値の高いIoTサービスを提供することを目的に
2015年1月より、「エナジーモニター」提供開始

エナジーモニターとは…



当社のクラウドサービスを基盤に、太陽光発電施設のエネルギー発電状況などを可視化するサービス

大手ゲーム制作会社数社から業務を受注!

事業の進捗状況

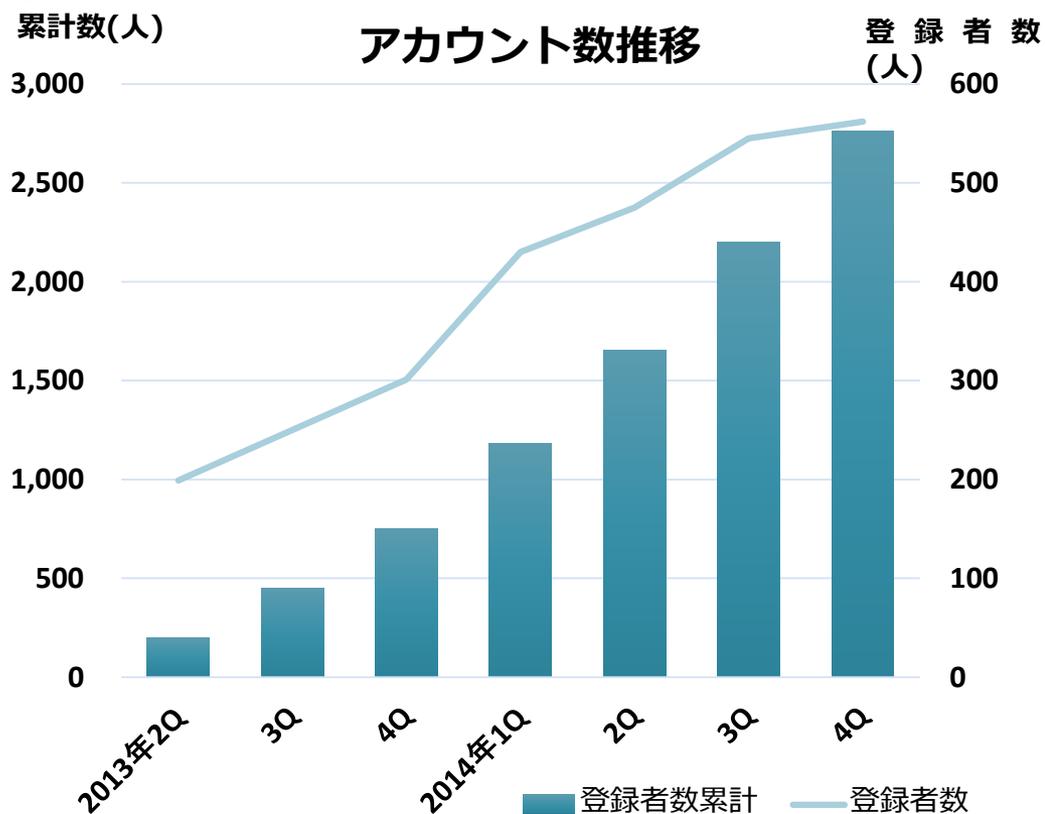
普及期

プリサ
ポート期

マネタイ
ズ期

- ✓ ナショナルベンダー数社より業務を正式受注
- ✓ プリサポート期からマネタイズ期に移行

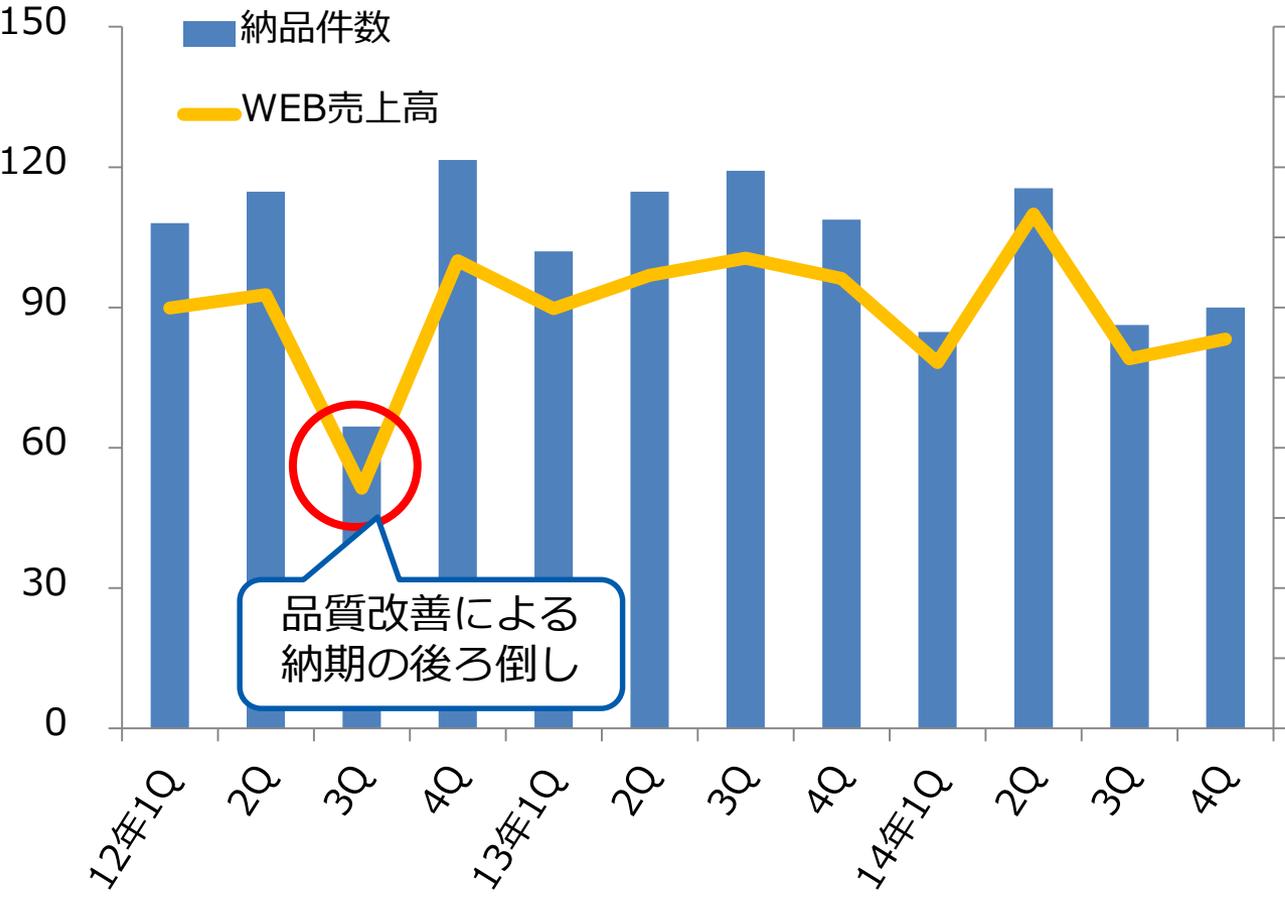
CEDEC2014講演の様様



売上高・納品件数の推移

売上高
単位：百万円

納品件数
単位：件



- ✓ 営業人員不足による売上高・納品件数の減少
- ✓ 納品後に付随サービスを提供するストックサービスを強化

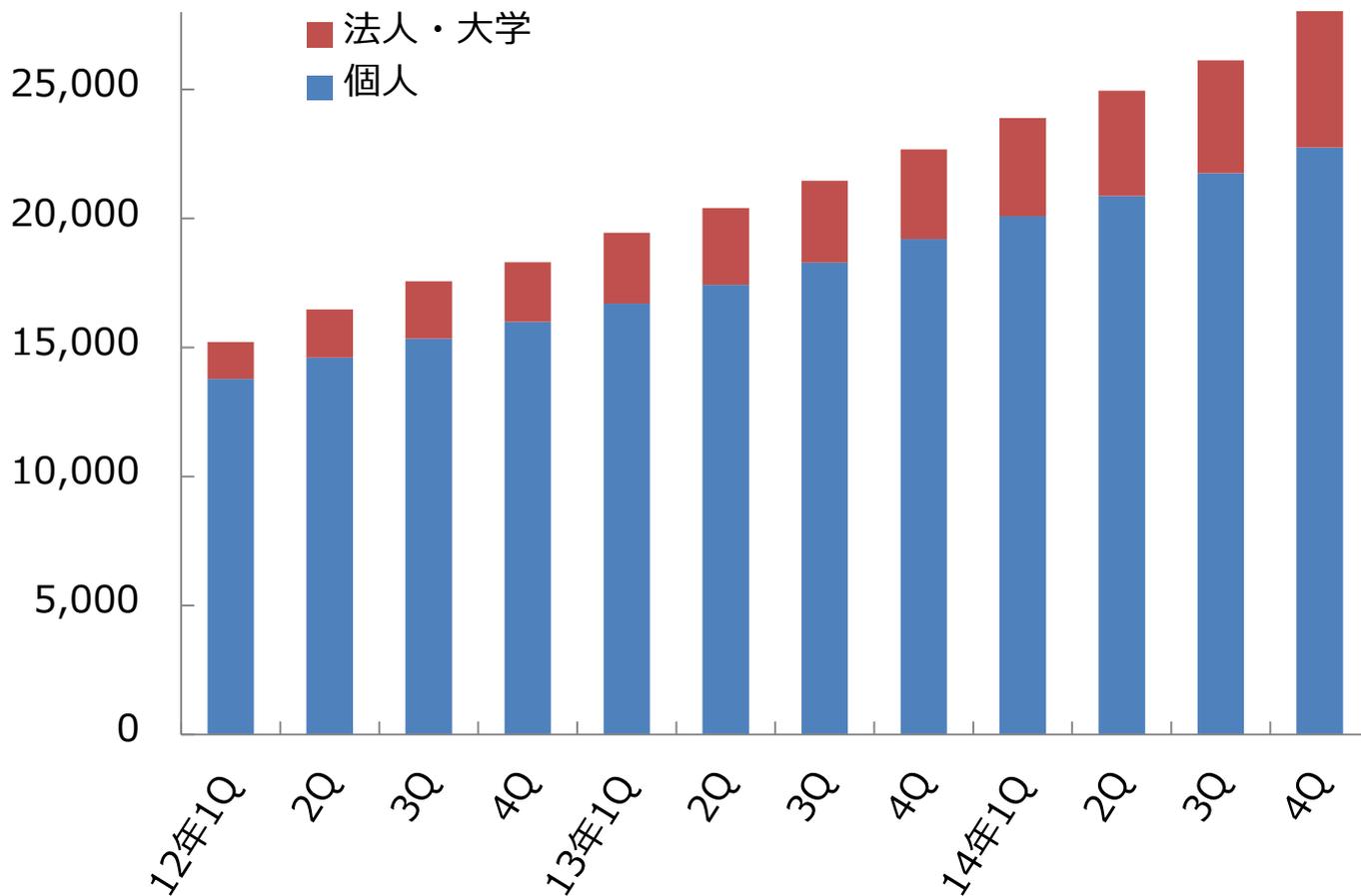
2014年第4四半期

売上高： 83百万円
前年同期比： 5.7%
納品件数： 120件

品質改善による
納期の後ろ倒し

会員数の推移

単位：件



- ✓ 4Qにグローバルサイトをオープン
- ✓ 動画・Webページ翻訳サービスへの進出も視野に入れる

2014年第4四半期

個人： 22,754

法人・大学： 5,850

合計： 28,604

前年同期比 +26.1%

会社名	GMOクラウド株式会社 (2011年4月、GMOホスティング&セキュリティより社名変更)
証券コード	3788 (東証一部)
設立	1997年 5 月 株式会社アイル
事業内容	総合インターネットサービスの提供
主力事業	クラウド・ホスティング事業 (クラウドサービス・ホスティングサービス) セキュリティ事業 (電子認証サービス) I A M 事業 (ID一元管理・フェデレーションプラットフォーム) ソリューション事業 (Web制作サービス、翻訳サービス、Photon事業、 エネルギーマネジメント事業)
親会社	GMOインターネット株式会社 (東証一部: 9449) 被持株比率51.3% * 2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	20社 連結16社(国内8社、海外8社) 非連結4社(海外4社) (2014年12月末現在)
従業員数	連結624名 (2014年12月末)

GMO CLOUD

当社の取り組みや事業紹介のほか、
プレスリリースや決算情報等をお届けするIRメールマガジンにぜひご登録ください。

<http://ir.gmocloud.com/ir/mail/>



当資料に関するお問合せ先

GMOクラウド株式会社

社長室 IR担当 池谷、松下

TEL : 03-6415-6100

E-mail : ir@gmocloud.com または

<https://ir.gmocloud.com/contact/ir/>

よりお問合せください。